

海田町立海田中学校・海田西中学校の実践の概要

時期	特別活動（学級活動）	総合的な学習の時間	道徳の時間	教科	行事・その他	キャリア発達にかかわる諸能力
一 学 期	2年生の目標を立てよう【ア, ウ, エ】	職場体験学習に向けて【ア, ウ, エ】 ・自己への気付き ・色々な進路 ・将来の人生設計	礼儀・適切な言動 「おはよう」【ア】 自己を見つめる 「私の四面鏡」【ア】	国語科・社会科 【ウ・エ】	JRC登録式【エ】	ア人間関係形成能力 イ情報活用能力 ウ将来設計能力 エ意思決定能力
	体育祭に向けて【ア, エ】	社会人としてのマナーを学ぼう【ア】 職場体験学習	役割と責任 「賞状」【ウ】 働く喜び「山奥の請け負い配達夫さん」【ウ】		校外清掃活動【ウ】	
二 学 期	文化祭に向けて【ア, エ】	報告書作り～職場体験から学んだこと～【イ】	働く喜び「山奥の請け負い配達夫さん」【ウ】 勤労奉仕「ゴミ収集車」【ウ】	国語科・音楽科 【ア・ウ】	体育祭【ア】	
	修学旅行に向けて取り組もう【ア, イ, ウ】				立志式に向けて～将来に向けて、自らの志を持とう～【ア, ウ, エ】	
三 学 期	将来への“志”を持とう【ウ, エ】	立志式に向けて～将来に向けて、自らの志を持とう～【ア, ウ, エ】	生きる喜び「野の花のように」【エ】	国語科・音楽科 【ア・ウ】	修学旅行【ア】	
	生き方を考えよう【ウ, エ】				生徒会選挙【エ】 立志式【ア, ウ, オ】	

実践報告にみる留意事項

1 教育課程の工夫

昨年度、キャリア教育の視点で全教育活動の見直しを行った。

生徒一人一人に望ましい勤労観・職業観を養うために、職場体験を中核として、総合的な学習の時間や特別活動・道徳の時間等、他の教育活動との関連を強化し、有機的に機能させることで、その充実を図った。

2 事前・事後指導の工夫

職場体験を通して、自己理解を深め、自身の将来の生き方や進路を考えていくことをねらいとして、事前・事後学習を構築した。また生徒に志をもたせ、その発表の場としての立志式を学校行事として実施する予定である。

商工会からの要請により、社会性を身に付けさせるために、特にあいさつや言葉遣い・マナー等の事前指導を町内の2中学校で指導案を検討しながら実施した。

3 事前指導の主題の設定理由

中学生の時期は、他者にまなざしが注がれても、自分に向けられることが少なく、自分に気付きにくいものである。そこで「自他の理解能力」の一つである自分の長所や欠点に気付かせることをねらいとして、本主題を設定した。

4 事後指導の主題設定の理由

職場で体験したことをまとめることにより、それぞれの職場体験学習を振り返らせ、働くことの意義を多角的にとらえさせることをねらいとして設定した。

5 生徒の反応・指導者のことば

生徒を対象として、事前・事後に実施した勤労観・職業観に関する質問紙調査では、全ての項目で得点が向上したことから、生徒の意識に大きな変容があったことが分かる。5日間の職場体験によって、勤労の喜びとともにつらさを体験することによって、両親に感謝する気持ちをもつ生徒が多くなったことも特徴的なことであった。

報告書づくり～職場体験で学んだこと～（総合的な学習の時間）

＜事後指導＞

- (1) 単元名：報告書づくり～職場体験で学んだこと～
- (2) 本時の目標：職場体験の記録をもとに報告書を作成する活動を通して、学んだことをより深く見つめさせる。
- (3) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆「指導を要する」状況（C）と判断された生徒に対する手だて）	具体的評価規準 ■評価方法	キャリア教育の視点、職場体験学習との関わり
導入	1 本時の学習課題を確認する。	◇「町ぐるみ職場体験ウィーク in かいたく生徒用冊子」の「活動の記録」「5日間の反省」の部分を読み返すよう指示する。		
	職場体験での記録をもとに、職場で体験したことを分かりやすくまとめ、工夫を凝らしながら清書し、自分の将来や進路の生き方について考える。			
展開	2 「町ぐるみ職場体験ウィーク in かいたく生徒用冊子」を参考に、記入のポイントを確認する。 【記入する項目（共通）】 ・事業所名とその事業所の紹介 ・自分が体験した仕事について ・職場体験で学んだこと	◇レイアウトのサンプルを参考になるように、示しておく。 ◆なかなか作業が進まない生徒に対しては、例文等を提示して進みやすいよう指導する。 ○文字を大きくはっきりと書いて分かりやすい。 ○色を上手に使い分けている。 ○ダラダラとやったことを並べるのではなく、ポイントを絞った方が分かりやすい。 ◇お互いのアドバイスを受け止め、参考にするように指示する。		
	3 お互いにアドバイスしあって、よりよいまとめになるようにつくる。	○従業員の方の仕事への熱意が分かった。 ○人間関係が大切だと分かった。 ○資格が必要であることが分かった。 ◆他の人がどんなアドバイスを果しているかを聞かせ、参考にしよう指導する。	○自分の将来の進路や生き方についての考えを報告書にまとめている。 ■報告書	★情報活用能力(情報収集能力) 他者の考えに関心を持って聞き、自分の考えとの共通点・相違点を考える。
まとめ	4 まとめの清書を仕上げる。	◇職場体験したことをまとめ、自分の将来の進路や生き方について考えたことを発表させる。		

職場体験 まとめ

2年 組 番 名前 _____

* 職場体験で学んだことをまとめ、展示発表しよう

<まとめる内容>

- ・ 事業所名とその事業所の紹介
(詳しい仕事内容・職場の様子・そこで働いている方々についてなど)
- ・ 自分が体験した仕事について
(体験させていただいた仕事の内容やそのとき感じたことなどを詳しく)
- ・ 職場体験で学んだこと
(体験を通じてわかったこと、仕事をするということについて感じたこと、職場の方々に教えていただいてわかったこと、自分の将来について考えたことなど)

<書き方について>

- ・ 自分が体験したことや学んだことをしっかりと振り返って書こう
→冊子や資料をもう一度見直して書いていこう
- ・ お世話になった事業所の方々への感謝の気持ちと、みんなにきちんと自分の体験したことを伝えようという気持ちが伝わるものにしよう
→丁寧でわかりやすい表現を心がけ、心を込めて真剣に取り組もう
これを見た事業所の方々が「自分たちの思いが伝わって良かった」「体験学習でしっかりと学んでくれてうれしい」と思えるようなものが出来るようにしよう
また後輩たちが職場体験について理解し、楽しみに思えるようにしよう
- ・ 見て(読んで)わかりやすいように工夫しよう
→レイアウトを考え、写真やイラストを入れていこう
文字は丁寧に、カラーペンを使うなどして見やすい紙面を考えよう

<進め方>

- ・ 内容を考えて下書き→先生にチェックしてもらおう <2時間>
- ・ 清書(ケント紙(B3)にペンで書く) <2時間>
- ・ 展示発表 <文化祭>